

平成 17 年 8 月 12 日

エイズ動向委員会の結果報告について

- 1 本日の委員会では、平成 17 年 4 月 4 日より平成 17 年 7 月 3 日までの感染症法に基づく患者・感染者報告並びに平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 6 月 30 日までの任意報告を解析した。

- 2 平成 17 年 4 月 4 日より平成 17 年 7 月 3 日までの間に感染症法に基づき報告された新規エイズ患者数は 89 件、新規 HIV 感染者数は 171 件であった。

患者 89 件、感染者 171 件の内訳は、

感染原因別では、異性間の性的接触による患者 33 件、感染者 35 件、同性間の性的接触による患者 32 件、感染者 113 件、静注薬物濫用による患者 1 件、その他の原因による患者 6 件、感染者 3 件、原因不明の患者 17 件、感染者 20 件であった。

性別では男性患者 83 件、感染者 160 件、女性患者 6 件、感染者 11 件であった。

年齢区分別では、患者は 10 代 1 件、20 代 10 件、30 代 33 件、40 代 20 件、50 歳以上 25 件、感染者は 10 代 3 件、20 代 58 件、30 代 65 件、40 代 28 件、50 歳以上 17 件であった。

国籍別では日本人患者 71 件、感染者 150 件、外国人患者 18 件、感染者 21 件であった。

感染地域別では、国内で感染した患者 64 件、感染者 140 件、海外で感染した患者 11 件、感染者 13 件、感染地域不明患者 14 件、感染者 18 件であった。

- 3 患者 89 件、感染者 171 件のうち

異性間の性的接触による患者 33 件、感染者 35 件のうち日本人男性は、患者 23 件、感染者 24 件、日本人女性は、感染者 6 件であった。

また、外国人男性は、患者 7 件、感染者 3 件、外国人女性は、患者 3 件、感染者 2 件であった。

同性間の性的接触による患者 32 件、感染者 113 件のうち日本人男性は、患者 30 件、感染者 107 件であった。

また、外国人男性は、患者 2 件、感染者 6 件であった。

日本人男性患者 71 件のうち 20 代 7 件、30 代 25 件、40 代 16 件、50 歳以上 23 件、日本人男性感染者 144 件のうち、10 代 3 件、20 代 48 件、30 代 55 件、40 代 23 件、50 歳以上 15 件であった。

また、日本人女性感染者 6 件のうち、20 代 3 件、30 代 2 件、40 代 1 件であっ

た。

外国人男性患者 12 件のうち、20 代 1 件、30 代 5 件、40 代 4 件、50 歳以上 2 件、外国人男性感染者 16 件のうち、20 代 5 件、30 代 6 件、40 代 4 件、50 歳以上 1 件であった。

また、外国人女性患者 6 件のうち、10 代 1 件、20 代 2 件、30 代 3 件、外国人女性感染者 5 件のうち、20 代 2 件、30 代 2 件、50 歳以上 1 件であった。

国内感染による患者 64 件のうち日本人男性が 58 件、外国人男性が 5 件、外国人女性が 1 件であった。

また、国内感染による感染者 140 件のうち日本人男性が 128 件、日本人女性が 5 件、外国人男性が 6 件、外国人女性が 1 件であった。

海外感染による患者 11 件のうち日本人男性が 3 件、外国人男性が 3 件、外国人女性 5 件であった。

また、海外感染による感染者 13 件のうち日本人男性が 8 件、日本人女性が 1 件、外国人男性が 3 件、外国人女性が 1 件であった。

4 任意報告により

キャリア等からエイズ患者になったとの報告 1 件であった。

患者・感染者の死亡 1 件は、その他の原因が 1 件であった。

死亡報告 1 件のうち、30 代 1 件であった。

5 平成 17 年 1 月から 6 月末までの保健所等における HIV 抗体検査件数は 37,214 件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は 8,502 件、保健所における相談件数は 63,221 件であった。

6 平成 17 年 1 月から 6 月末日までの献血件数 2,725,863 件（速報値）のうち、HIV 陽性件数は 36 件であった。